

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	事業所名	ゆとり庵北越谷 看護小規模多機能型居宅介護
所在地	(〒 343 - 0035) 埼玉県越谷市大字大道 643 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ゆとり庵北越谷看護小規模多機能型居宅介護施設は地域密着型複合施設であり、看護小規模多機能以外にも7つの事業所を併設している。
- ・24時間看護職員が常駐しており、サポートが可能。
- ・事業所内に専門職であるセラピストを配置しており、生活期におけるリハビリテーションを提供している。
- ・病状に応じて施設建物内でサービスを変更することができ、利用者様・ご家族様が安心して頂ける環境がある。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 11 月 22 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 12 月 22 日	出席人数 (合計)	(5) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (4) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (0) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (0) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (0) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (2) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (0) 人 <input type="checkbox"/> その他 () 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスを行っているが情報共有がしっかきできていない ・休憩、残業の配慮を行いスタッフの精神的負担の軽減 ・医療材料や災害時のマニュアルがなく明確になっていない ・事故につながらないようにヒヤリハットを多く提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスを行い新規のご利用者様の情報の共有などを行う ・精神的な負担を減らせるようにしっかき話を聞き問題点の早期解決を試みた。 ・災害時のマニュアルなどは現状行っていない ・ヒヤリハットに関してミーティングなどで話をしているがなかなか理解されない 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のマニュアルの作成を行う 安否確認の方法・連絡先のリスト作成 事故防止の内容を分かりやすいように研修を行ってみる 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント不足を考える ・ご利用者様の背景の情報の共有ができていない ・日常生活の中で本人の能力を生かし向上できるようにする ・ご利用者様の変化の早期発見が出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護だけでなく、介護からもご家族様の情報を取れるようにした(送迎時など) ・能力を生かすためにリハビリを日々行えるようにした。リハビリの計画も立て、他業種にも報告し共有できるようにした 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護と往診の情報共有は今後も行っていく
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有に関して課題が残る 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日夜間の問わず即座の対応を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師だけではなく介護も積極的に行えるようにしていく
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に看多機の広報活動 ・積極的に受け入れが出来るようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・行う事が何もできていない 	
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの導入により安心した生活が送れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関して積極的に行う事が出来た。 ・ご自宅での看取りを他事業所との情報共有を行いながら問題なく行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も看取りを積極的に行い、他事業所との連携・情報共有ができるようにする 	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有が出来ていない。カンファレンスだけでなく昼礼を行いしっかりと情報共有を行う。 ・災害時のマニュアルが出来ていない。今後何か災害が起きてもスタッフがどのように動けばいいのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日1回必ず申し送りを行う時間を設ける・ ・災害マニュアルがあるのかの確認を行い、スタッフが問題なく行えるように分かりやすくマニュアルの訂正等を行う。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントが不足している ・ご利用者様の情報が不十分なため、ケア内容がなかなか決まらないことがある。 ・本人の能力に合わせたプランが出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントがしっかりできるようにスタッフにも協力してもらう ・ケア内容が不十分なことがある。ご利用前にはしっかりとケア内容を決める。ご本人の体調に合わせる必要がある。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護は行えていることが多いが介護が出来ていないことがある。介護でも積極的に往診の先生との連携を取れるようにする
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動が出来ていないため、看多機がどのようなところなのか理解されていない ・新規のご増段に関しては積極的に受け入れを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機がどのようなところなのか理解していただけるように広報活動を行う。 ・積極的な受け入れを行っていき、ご利用者様が安心して生活できるようにする
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活が送れるようにする ・看取りも積極的に行い、お自宅での対応も安心してできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して自宅での生活ができるという事を理解してもらい、サービスの導入を行う 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します